

令和2年度  
第36回佐世保市中心市街地通行量調査  
結果報告書



令和2年8月16日(日)・17日(月)実施

 佐世保商工会議所

# 令和2年度 第36回佐世保市中心市街地通行量調査結果

## 休日、平日ともに減少率過去最大 新型コロナウイルスの影響強く、前年対比約3割減

本年の通行量調査の結果、調査地点6ヶ所の総合計で休日[8月16日(日)]は**36,585人**となり、前年より**15,205人(29.4%)減少**となった。また平日[8月17日(月)]の合計通行量は**33,824人**で前年より**12,855人(27.5%)減少**していた。休日、平日の両日ともにこれまで調査を行った36年間の中でもっとも大きい減少率となった。

調査日は雲が少なく、強い日差しが照り付けた、2日間の最高気温はそれぞれ34.3℃、35.6℃(8月平均最高気温32.8℃)。

昨年の平日調査日には(2019.8.19)三浦岸壁にクルーズ船「コスタ・ベネチア」(船客数約5,260人)が来航していたが、今年は1月25日以降乗客を乗せたクルーズ船の寄港がない。(2020年8月時点)

### 【通行量調査当日の状況】

	16日(日)	17日(月)
天候	晴れ	晴れ
休業店四ヶ町	8店舗(1店舗)	3店舗(1店舗)
休業店三ヶ町	18店舗(11店舗)	4店舗(11店舗)
イベント	くっけん広場周辺でSASEBO まちなかマルシェ開催	

※( )内はR1年

### 【通行量調査の概要】

#### ◇調査の目的

商店街の通行量を時系列的に測定し、街区毎の変化を把握することによって、今後の商店街活性化策の一助に供する。また、今年度も佐世保駅周辺の通行量調査を行い、今後の開発事業における効果測定の指標とする。

#### ◇調査の時期

毎年、お盆明けの直近の日曜(休日)、月曜(平日)の2日間。

本年は、8月16日(日)・17(月)。

調査時間は両日とも午前10時～午後5時まで。

#### ◇調査地点

四ヶ町(4ヶ所)、三ヶ町(2ヶ所)、佐世保駅周辺(3ヶ所)

#### ◇事業実施主体

佐世保商工会議所

#### ◇事業協力

させぼ四ヶ町商店街(協)、佐世保三ヶ町商店街(振)

#### ◇調査協力

長崎県立佐世保商業高等学校、長崎県立大学

## 1. 中心商店街アーケード内の傾向

### (1) 休日[8月16日(日)]の傾向

16日(日)のアーケード内通行量合計は昨年より15,205人(29.4%)の減少となった。最も減少率が大きかったのはC1地点(親和銀行本店前、佐世保市役所⇒佐世保駅方向)34.3%、次にD1地点(川下レコード店前、佐世保市役所⇒佐世保駅方向)32.8%。最も減少率が小さかったE1地点(くっけん広場前、佐世保市役所⇒佐世保方向)でも減少率19.3%を記録するなど全体的な減少となった。

方向的には1方向(佐世保市役所⇒佐世保駅方向)が6地点合計で昨年より7,858人(29.7%)減少。2方向(佐世保駅⇒佐世保市役所方向)も合計で昨年より7,347人(29.0%)減少した。

### (2) 平日[8月17日(月)]の傾向

17日(月)のアーケード内合計も昨年より12,855人(27.5%)減少した。A1地点(長崎銀行前、佐世保市役所⇒佐世保駅方向)以外の全地点で減少となっている。双方向合算で見るとC地点(親和銀行本店前)とD地点(川下レコード店前)がともに29.6%減少となっており、休日の調査同様に高い減少率になっている。

方向的には1方向(佐世保市役所⇒佐世保駅方向)が6地点合計で昨年より6,304人(26.1%)減少。2方向(佐世保駅⇒佐世保市役所方向)も合計で昨年より6,551人(29.1%)減少した。

### (3) 調査地点別傾向

休日の通行量が多かった順に、①C地点(親和銀行本店前)10,054人、②D地点(川下レコード店前)9,579人、③E地点(くっけん広場前)6,446人、④F地点(四ヶ町入口)5,110人、⑤B地点(テレビ佐世保前)4,283人、⑥A地点(長崎銀行前)1,113人となった。

平日の場合は①C地点(親和銀行本店前)8,823人、②D地点(川下レコード店前)8,418人、③E地点(くっけん広場前)5,943人、④B地点(テレビ佐世保前)4,601人、⑤F地点(四ヶ町入口)4,045人、⑥A地点(長崎銀行前)1,994人の順となった。

今年度調査では殆どの地点で大幅な減少があったが、調査地点に占める比重自体は例年と同様の傾向となっている。アーケードの中心部から四ヶ町方向にかけて通行量が多くなっており、平日になるとその比重が三ヶ町方面へ若干シフトする。通行量の比重が例年と変わらず、商店街で全体的に減少していることから、やはり新型コロナウイルスの影響があり、地元への帰省を見送る人が多かった事と、最高気温35.6度(17日)を記録した暑さも影響した可能性がある。

### (4) 対前年減少率比較

#### 休日・平日合算減少率ワースト

順位	調査回	減少率	天候(休日・平日)	主な出来事
1	第36回：令和2年	-28.5%	晴れ・晴れ	新型コロナウイルス感染拡大
2	第32回：平成28年	-16.9%	晴れ・晴れ	H28.4熊本大震災の影響で観光面に大きな影響
3	第15回：平成11年	-16.0%	雨・雷伴う雨	当日は雷を伴う豪雨により大幅に減少した

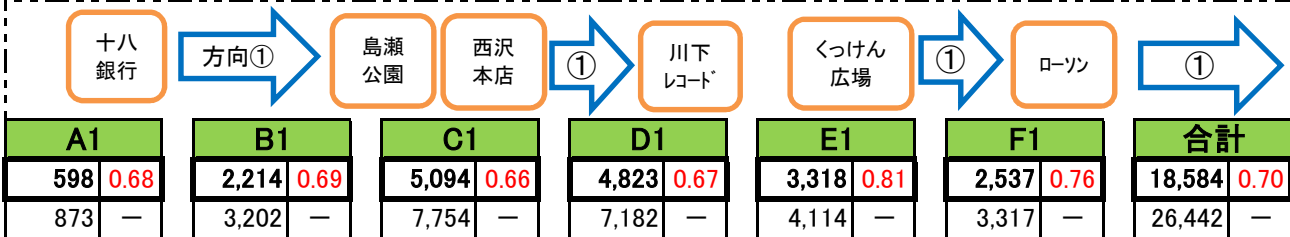
今回で36回目を数える通行量調査であるが、対前年の減少数は休日、平日共に過去2番目に大きく、減少率はもっとも大きくなった。「密」を避ける新型コロナウイルスの影響はダイレクトに通行量に影響しているとみられる。これまで通行量の減少が起こった年度では「天候不良」「震災」「前年度通行量が急増した反動」といった特徴が見られたが、今回のように感染症が原因といったケースは初めてである。終息の見通しも立たない以上、商店街にはこの新たな環境要因と付き合っていくことが求められる。

# ■中心商店街アーケード内における通行量の動向

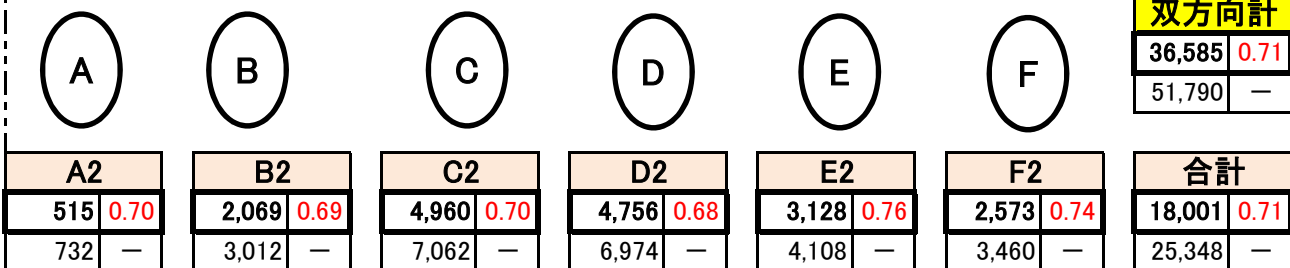
※上段:今回(R2.8月)調査数値、下段:前回(R1.8月)調査数値

休日:R2.8.16(日) 10:00~17:00(7時間)

国道35号線



国際通り



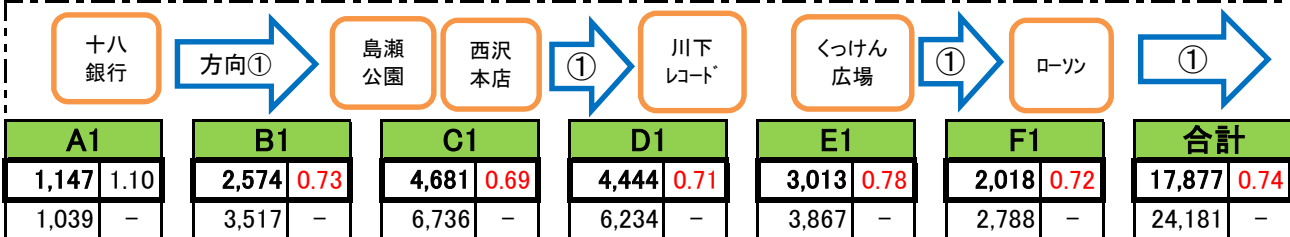
佐世保駅方向



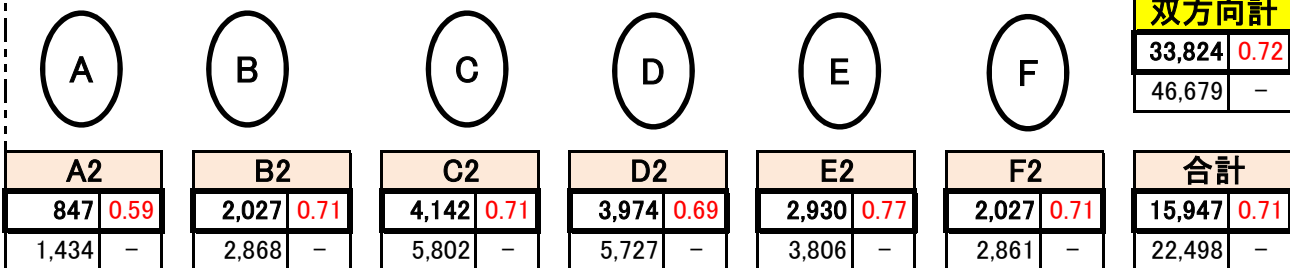
A:長崎銀行前 B:テレビ佐世保前 C:親和銀行本店前 D:川下レコト前 E:かつけん広場前 F:ローン前

平日:R2.8.17(月) 10:00~17:00(7時間)

国道35号線



国際通り



佐世保駅方向



A:長崎銀行前 B:テレビ佐世保前 C:親和銀行本店前 D:川下レコト前 E:かつけん広場前 F:ローン前

## 2. JR佐世保駅周辺の傾向

### (1) 休日[8月16日(日)]の傾向

16日(日)のJR佐世保駅周辺は、全調査地点合計で昨年より3,249人(36.9%)減少した。地点ごとにみると双方向でG地点(佐世保駅みなと口)が1,762人(46.6%)減少、H地点(アルカスSASEBO横)が614人(36.8%)減少、I地点(アルファビル横)が873人(26.0%)減少している。全体的に減少しているが、佐世保駅みなと口にあるG地点の減少がとりわけ大きい。コロナ禍において、広域的な人の動きが抑制されていることが窺える。

### (2) 平日[8月17日(月)]の傾向

17日(月)のJR佐世保駅周辺は全調査地点合計で昨年より2,494人(38.4%)減少した。地点ごとにみるとG地点(佐世保駅みなと口)が1,214人(45.4%)減少、H地点(アルカスSASEBO横)で330人(26.5%)減少、I地点(アルファビル横)が950人(36.9%)減少した。休日と同様G地点の減少が顕著である。

## 3. 商店街を取りまく環境

### (1) お盆の人出大幅減

お盆期間の人出について、新聞記事によると航空会社の国内線は全日空が前年同期比69%減、日本航空が66%減。国際線は全日空が96%減、日本航空が97%減。JR九州によるとお盆期間中の特急、在来線特急の利用者数は前年同期比71.9%減少している。

公共交通機関の利用減からも、今夏のお盆休みは例年と比べ、帰省や旅行の人出が大幅に減少していることが窺える。

### (2) 景気動向

内閣府が9月8日に発表した2020年の国内総生産(GDP)4~6月期2次速報値は前期比7.9%減、年率換算28.1%減となり、リーマンショック後の09年1~3月期(年率換算17.8%減)を超え、戦後最悪のマイナス成長となった。コロナウイルス感染拡大による個人消費の減少に加え4~5月に発表された緊急事態宣言や輸出入の激減といった諸要因が成長率を強く押し下げた。

当所が7月に行った佐世保地域の経営動向調査でもサービス業を中心に、幅広い業種から新型コロナウイルスの影響を指摘する声が聞かれ、売上動向は過去2番目に低い数値を記録した。

調査時には以下のような声が寄せられた。

#### 【マイナス要因】

- ・新型コロナウイルス自粛による来店数減少(婦人衣料品販売)
- ・コロナウイルスのため、お客様減少の為(音楽ソフト等販売)
- ・新型コロナウイルスによる国内旅行、インバウンド客の激減(宿泊、温泉施設)

#### 【プラス要因】

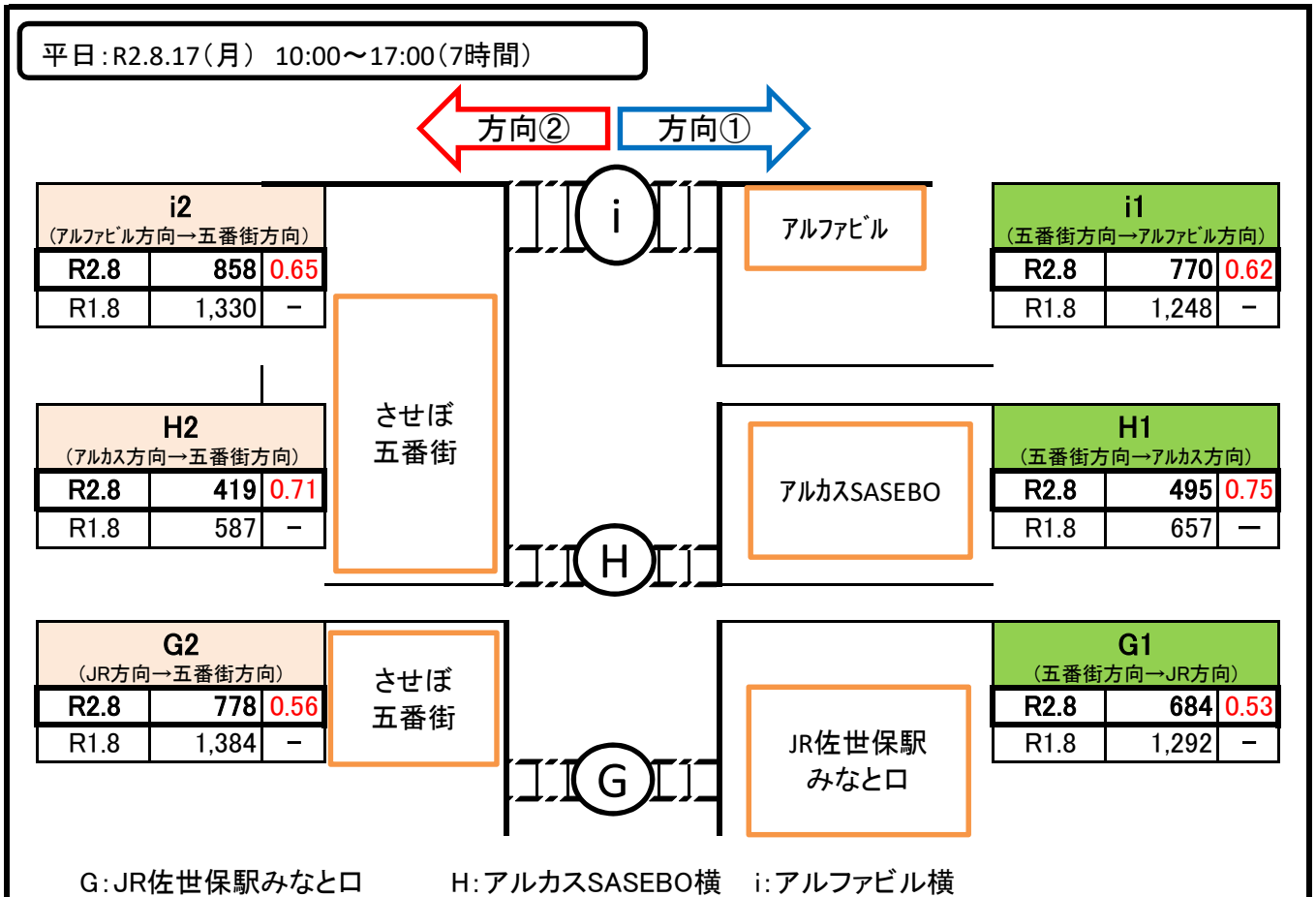
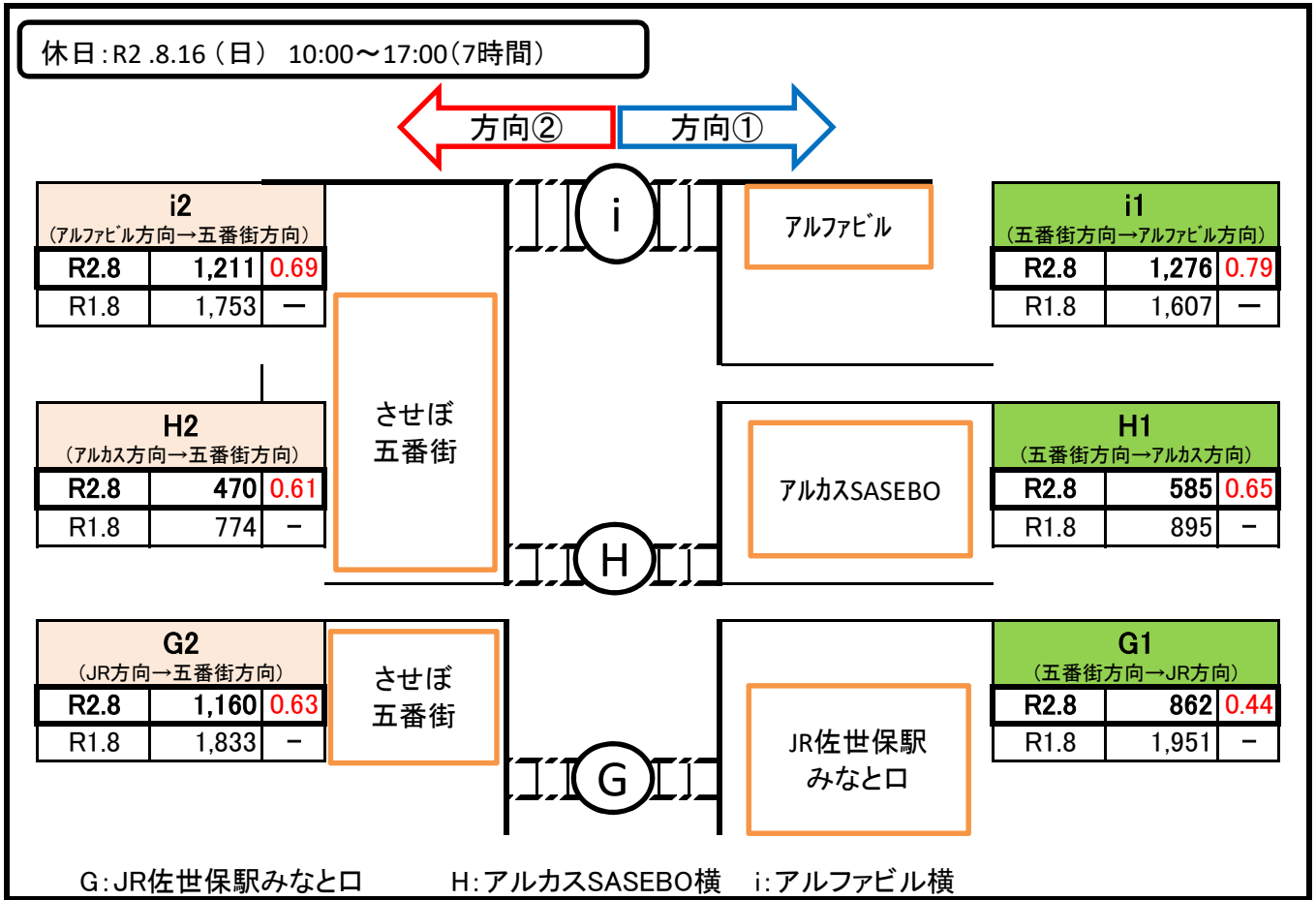
- ・コロナ禍により自宅での消費が増加した。(野菜、果物、花卉、加工品販売)

### (3) これからのまちなか

GDPや市内経営動向は緊急事態宣言があった4月~6月のものであり、内閣府が発表している7月の景気動向指数には改善の動きが見られた。ただ、今回の通行量調査の結果は街に人が戻り切っていない実情を示している。終息の見通しも立たない現状においてはコロナウイルスのある現状を受入れ、それに対応していく「withコロナ」の取り組みが期待される。

# ■佐世保駅周辺における通行量の動向

※上段: 今回(R2.8月)調査数値、下段: 前回(R2.8月)調査数値



#### (4) コロナ禍での取組み

コロナ禍により全国の商店街が打撃を受けつつも、各地域で地方創生に向けた活動が行われている。佐世保市でも「一般社団法人させぼラボ」による公共空間の新たな活用に関する社会実験が行われたので紹介する。

##### 一般社団法人させぼラボによる社会実験「夜直し公園プロジェクト」

開催日：【清掃活動】令和2年7月4日(土)

【sasebo 夜直しパーティーin 夜店公園通り】令和2年7月17日(金)・24日(祝)

主催：一般社団法人させぼラボ

本イベントは四ヶ町商店街に隣接し、夜の飲食店街が立ち並ぶ夜店公園通りの利活用に関するプロジェクト。準備段階として民間で公園の清掃を行い、快適な空間づくりをしたのち、公園と店舗の間にある市道を通行止め（歩行者専用道路）にし、そこに簡易屋台やキッチンカーを並べ飲食物を提供する【sasebo 夜直しパーティーin 夜店公園通り】を開催した。

来場者は公園に置かれたテーブルを使い、開放的な雰囲気の中で飲食を楽しんだ。入口では非接触型検温を行い、三密を避け、会場整理に気を配った。同イベントはコロナ禍で客足が激減した地元の飲食店を支援する目的もあったが、させぼラボの岡田代表は「まちが元気を取り戻すために、三密を避けつつくつろぎ楽しむ、新しい街の生活様式を作っていきたい」と思い、今回、公共空間の新たな活用により、まちの変化をどのように起こしていけるのかをテーマとする社会実験を実施した」とその意義を説明されている。

実証結果では2日間、短時間の開催で2次的な効果を含め、約160万円の経済効果が生まれた。コロナ禍においても感染予防に気を配り、快適な空間づくりを行うことで、まちに人を呼び込める。同イベントは今後のwith コロナ時代における取組として示唆に富む。

なお、顧客ニーズ把握の為、テーブル上のQRコードを用いて来場者のアンケートを行った。それらを纏めた社会実験報告書は市役所、商工会議所、佐世保警察署などの関係部門に提出され、ホームページで公開されている。次回開催予定日は10月30日(金)、11月6日(金)、13日(金)。

##### ■行った感染予防対策

- ・来場者に会場入場時に非接触型体温計による検温を行う。合格した来場者にはその証のシールを貼ってもらう
- ・公園に設置したテーブル上にアルコール消毒液とウェットティッシュを置き、飲食前後のコロナウイルス感染症対策を実施
- ・イベント中に検温の協力やソーシャルディスタンスなどに関するアナウンスを実施

